

全溶連

2025年7月 第213号 www.zenyoren.com/

- 信頼を重ね 未来へ繋ぐ 全溶連
- 自主保安 皆んなの力で 安全確保



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



「湘南ひらつか七夕まつり」

写真提供：(一社) 平塚市観光協会

第82回通常総会	2	単位組合紹介	
全溶連大会 2025 東海開催	6	((一社) 神奈川県高圧ガス流通保安協会)	15
ご来賓の祝辞	9	賛助会員の広場	
業界功労者一覧	12	(小池酸素工業(株) / 高圧ガス工業(株) /	
懇親会	13	ニッコー溶材工業(株) / JIMGA)	16
		全溶連からのお知らせ	19

第82回通常総会 全溶連大会2025 東海開催



2025年6月12日名古屋マリオットアソシアホテルにおいて一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会（以下全溶連という）の第82回通常総会が開催されました。

総会開催にあたり鈴木副会長より、「本日は第82回全溶連総会にお忙しい中、また全国各地、遠いところからもご出席頂きまして、誠にありがとうございました。

また、賛助会員、関係諸団体の皆様には、日頃から全溶連事業活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、また業務ご多忙の中、ご出席賜りまして重ねて御礼申し上げます。

なお、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 正影部長、高圧ガス保安協会 近藤会長、日本産業・医療ガス協会 澤木専務理事、愛知県江口副知事、名古屋市消防局 丹羽部長は、総会議了後の大会時にご来臨頂く予定になっておりますので、お知らせ申し上げます。

今回の会場である名古屋市は、日本の中心に位置し、交通アクセスが便利で、歴史と文化が織りなす魅力あふれる都市です。大都市ならではの商業・サービス業が集積し、食文化も豊かで独自のグルメが堪能できるところです。

大会翌日の市内観光コース、ゴルフコンペに参

加される方はここ名古屋を楽しんでください。

本総会では、重要な議案をご審議頂くわけですが、全体的にスケジュールは大変タイトなものとなっておりますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、只今より、第82回一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会、通常総会の開会を宣言致します。」との開会の辞があり、続いて、深尾会長よりご挨拶がありました。

「第82回社員総会ならびに大会をここ名古屋で開催致しましたところ、会員、賛助会員の皆様にはご多忙の中、そして全国各地よりご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。



深尾 会長

名古屋における開催は、2009年（第66回大会）以来16年ぶりとなります。このたびの開催にあたり、企画・運営に多大なるご尽力をいただきました石川実行委員長をはじめ、東海高圧ガス溶材組合連合会の皆様に、心より深く御礼申し上げます。

さて、我々高圧ガス溶材販売業界を取り巻く環

境は、エネルギー価格や原材料費の高騰、人手不足など、依然として厳しい状況が続いております。このような時勢においてこそ、理事・評議員・代議員の皆様には、業界の中核を担う立場として、保安の確保および業界の持続的発展に向け、積極的なご尽力を賜りたく存じます。

この一年間の全溶連の活動に関して、後ほど各委員会から議案審議の中でご報告させていただきますが、高圧ガス保安の更なる向上を目指し、保安関連文書の改訂および新規発行に注力してまいりました。また、財政基盤の健全化も着実に進展しているものと認識しております。本日は、理事・評

議員・代議員の任期満了に伴う改選も予定されておりますので、皆様方の慎重なご審議をお願い申し上げます。

なお、本総会終了後には大会および懇親会も予定されております。活発な意見交換と実りある交流の場となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。」

次いで司会より議決件数31（出席23、委任状8）、代議員議決権個数：146（出席77、委任状69）で定款20条に規定する過半数の出席があり本総会は成立していることが報告されました。

第82回通常総会

第1号
議案

2024年度 事業報告

次の3項について事務局より報告しました。

- 1.全溶連の環境（内容省略）
- 2.全溶連の事業活動の状況

(1)第81回全溶連総会の開催

2024年6月7日、大阪ガーデンパレスにおいて第81回全溶連総会が開催されました。本年は大会のない総会のみで開催となりましたが、議案審議に引き続き開催された懇親会には、ご来賓、賛助会員並びに評議員等108名に出席頂き、参加者の親睦が図れました。

(2)高圧ガス保安確保への対応

全溶連は消費先の保安確保を最重要課題として取り組んでおりますが、決して事故が全体として減少に向かっているとは言い難い状況です。

全溶連としては、会員への高圧ガス保安法のコンプライアンスの徹底と商慣行改善を目指す一環として、消費先の皆様の自主保安の強化を図っております。

昨年11月に開催した保安対策連絡会議において、新たに高圧ガス保安協会がメンバーに加わったことで、保安に対する活動範囲が広がり、体制強化が図れました。

各地域で利用される高圧ガス消費者保安テキストは、文面のQRコードを読み取ることで、高圧ガス保安法関連部分の動画が閲覧で

き、講習内容の復習や社内で行う保安講習会に活用可能としました。

また、4月に高圧ガス移動に関する例示基準が改正されたことで、全溶連では車両に積載した容器による高圧ガス移動における法規制概要のリーフレットを作成し、車両における移動に伴う積載方法の見直しを図り安全確保に努めました。

高圧ガス保安協会の支援のもと、第7期（2023年4月1日より2026年3月31日まで）の放置容器処理事業の2年度がスタートしました。処理内容は、内容物不明容器5本と毒性ガス容器3本については未処理となり、アセチレン容器194本を処理しました。

(3)全溶連福祉共済団体保険の拡充

第10回目のキャンペーンでは、2023年10月から2025年3月の間でポイント加点基準を見直し「ポイントゲットキャンペーンPART4」を実施した結果、第1位：東海組合、第2位：大阪組合、第3位：東京組合、第4位：茨城組合、第5位：神奈川組合となりました。

(4)全溶連賠償責任保険の拡充

2024年度の募集結果は483社の加入で前年度に比較し、14事業所減となりましたが、保険料は63,543千円、前年比866千円の増額となりました。目標としている加入率50%に比較し、2024年度は56.0%と目標数字を若干上回りました。

(5)高圧ガス溶材企業年金基金の現況

当基金は2025年3月末現在で加入事業所343社、加入者9,816名、年金受給者1,740名、年金資産額約113億円の規模となっております。また、財政検証においては健全な財政水準を維持でき基金運営は概ね順調に推移しております。

少子高齢化社会が急速に進展する我が国の現状において、国の年金制度（公的年金）では、「被用者保険の適用拡大」・「在職老齢年金制度の支給停止要件の緩和」・「繰り上げ受給の減額率の低減」・「支給開始年齢の引上げ（年金開始年齢75歳までの選択肢拡大）」等が順次実施されております。

このような状況を踏まえると、老後所得を担う公的年金・企業年金は益々重要な役割と認識しております。皆様の老後生活の保障機能の一翼を担っていくため、長期にわたって安定的な事業運営

に最善を尽くしてまいりますので、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に3.一般庶務事項、5.総会及び役員会における審議事項、6.会員数の状況、7.慶弔については時間の関係上割愛となりました。

4.委員会活動の状況

各委員長より活動状況について報告されました。

組織委員会（竹腰委員長）、経済委員会（佐藤委員長）、保安委員会（大岡委員長）、

厚生委員会（中尾委員長）、広報委員会（藤本委員長）より活動内容について報告されました。

なお、総務委員会は第3・5号議案、財務委員会は第2・4号議案で報告されました。以上第1号議案は、拍手で承認されました。

第2号 議案

2024年度 決算報告承認の件

柳川財務委員長より2024年度収支決算について報告されました。

収入の部

単位＝円

科 目	決 算
1. 基本収入 会費収入	24,780,000
2. 事業収入 保安事業関係 共済事業関係 (事業収入合計)	9,510,441 5,645,417 15,155,858
3. 全溶連総会収入	920,000
4. 事業外収入	1,788,830
収入合計	42,644,688
5. 前年度繰越金	16,833,546
総合計	59,478,234

支出の部

単位＝円

科 目	決 算
1. 事業費 保安及び共済事業関係	5,399,816
2. 販売費及び一般管理費 人件費 会議費 その他事業費 諸経費 (販売費及び一般管理費合計)	18,228,571 3,963,646 4,614,446 9,126,397 35,933,060
3. 引当金及び営業外費用	1,215,156
4. 支出合計	42,548,032
5. 次年度繰越金	16,930,202
総合計	59,478,234

2024年度利益は次年度繰越金16,930,202円から前年度繰越金16,833,546円を引いた96,656円となりました。

財産目録

単位：円

流動資産（現金・預金等）	75,449,289
固定資産（敷金）	5,040,500
資産 合計	80,489,789

流動負債（未払費用等）	5,212,893
固定負債（大会準備引当金等）	13,346,694
負債 合計	18,559,587

差引正味財産	61,930,202
負債並びに正味財産合計	80,489,789

次に利益処分案として本年度利益96,656円を前年度繰越金16,833,546円に加えた16,930,202円を次年度繰越金とする利益処分案が提案され承認されました。

引続き監事を代表して田畑監事より監査報告がなされ、第2号議案は承認されました。

第3号
議案

2025年度事業計画(案)

東狐委員長より13項目の2025年度事業計画案が提案されました。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
- 3.主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
- 4.自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進
- 5.関連業界及び団体との共同事業の推進

- 6.高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
- 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9.福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度、サイバー保険制度の普及
- 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
- 11.第82回全溶連大会(東海)の開催および第83回全溶連総会(東京)の準備
- 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
- 13.SDGsの活動の展開について

以上の第3号議案の提案に対し、拍手で承認されました。

第4号
議案2025年度収支予算案
承認の件

2025年度の利益は次年度繰越金17,076,202円から前年度繰越金16,930,202円を引いた146,000円となります。第4号議案は拍手で承認されました。

収入の部

単位=円

科 目	2025年度予算
1. 基本収入 会費収入	24,828,000
2. 事業収入 保安事業関係 共済事業関係 (事業収入合計)	9,420,000 7,100,000 16,520,000
3. 全溶連総会収入	0
4. 事業外収入	1,800,000
収入合計	43,148,000
5. 前年度繰越金	16,930,202
総合計	60,078,202

支出の部

単位=円

科 目	2025年度予算
1. 事業費 保安及び共済事業関係	5,344,000
2. 販売費および一般管理費 人件費 会議費 その他事業費 諸経費 (販売費及び一般管理費合計)	18,200,000 3,500,000 5,200,000 8,958,000 35,858,000
3. 引当金及び営業外費用	1,800,000
4. 支出合計	43,002,000
5. 次年度繰越金	17,076,202
総合計	60,078,202

第5号
議案2025年度理事・監事・評議員・
代議員改選の件

理事・監事・評議員・代議員の選任について東狐総務委員長より議案書に基づき提案され、満場一致で承認されました。

1.理事(8名)

深尾定男(東京)、鈴木慶彦(東京)、
河西哲男(神奈川)、石川雅一(東海)、
廣瀬哲三(大阪)、吉住一郎(九州)、
佐藤俊明(宮城)、大岡久晃(兵庫)

2.監事(2名)

鈴木柁批左(東京)、田畑浩一(大阪)

3.評議員(49名:1名欠員)

4.代議員(147名:3名欠員)

※尚、先の理事会で理事が承認された場合あらかじめ会長・副会長の選任がされており、2025年度の会長・副会長は次の方のお願いすることになりました。

会 長：深尾定男(再任)

副会長：鈴木慶彦(再任)、河西哲男(再任)、
石川雅一(再任)、廣瀬哲三(再任)、
吉住一郎(新任)

第6号
議案

第82回全溶連大会宣言文
採択の件

(全溶連に関するもの)

○「信頼を重ね 未来へ繋ぐ 全溶連」

(保安に関するもの)

○「自主保安 皆んなの力で 安全確保」

以上2点が提案され、拍手で承認されました。

以上を以って第82回全溶連通常総会の議事が終了し、最後に河西副会長の挨拶で閉会となりました。

「本日、会員の皆様は大変ご多忙のところ第82回の通常総会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また皆様のおかげで全ての議案をご承認いただくことができました。さて私どもを取り巻く環境は物流コストの上昇、人件費の上昇、エネルギー価格、資材価格の上昇等非常に

厳しい状況にあります。それに加えて、世界各地でのいろいろな地政学リスク、あるいは経済を直撃するトランプリスクがございまして先行き非常に不透明な状況になっております。しかしながら、我々全溶連の会員はどんな状況にありましても高圧ガスの保安の確保、これは最優先に取り組まなければいけない課題だと認識しております。先ほど保安委員長からお話ございましたけれども、東京でのアセチレンボンベの爆発事故、これは我々業界人として決して想定外の事故ではございませんでした。こういった不明放置容器の早期回収を含めて、消費事業者様と一体となって高圧ガスの事故の撲滅に向けて、我々は歩みを進めていかなければならないと思っておりますので、今年度もどうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。それではこれもちまして通常総会を閉会いたします。誠にありがとうございました。」

全溶連大会2025 東海開催

2025年6月12日名古屋マリOTTアソシアホテルにおいて第82回全溶連大会東海が開催されました。

名古屋での大会は16年ぶりですが、今回は東海高圧ガス溶材組合連合会が実行委員会となり、石川実行委員長を先頭にして、それをサポートする多くの方々の協力により全溶連大会が盛大に開催されました。

当日、ご臨席を賜ったご来賓は次の方々です。(敬称略)

経済産業省 中部近畿産業保安監督部	愛知県 防災安全局防災部
部長 正影 夏紀	消防保安課産業保安室 室長 近藤 孔三
愛知県 副知事 江口 幸雄	岐阜県 危機管理部消防課 課長 寺島 正樹
名古屋市 消防局(消防正監)	名古屋市 消防局予防部規制課
予防部長 丹羽 達夫	課長 服部 哲也
特別民間法人 高圧ガス保安協会	(一社)日本産業・医療ガス協会
会長 近藤 賢二	東海地域本部 本部長 古川 史人
一般社団法人 日本産業・医療ガス協会	特別民間法人 高圧ガス保安協会中部支部
専務理事 澤木 実	事務局長 中川 浩之
経済産業省	愛知県高圧ガス安全協会 会長 野村 幸司
中部近畿産業保安監督部 保安課長 成瀬 庸生	

式典第一部

開会にあたり、東海高圧ガス溶材組合連合会田崎副会長より

「本日は、第82回全溶連2025東海に全国よりご参集いただきまして、誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。また、先ほど御紹介がございましたご来賓の皆様方、時節柄大変お忙しい中、ご出席賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本大会におきましては、実行委員長を中心に、私ども東海地区の会員皆様の協力をいただきながらこの大会が盛り上がるように準備をしておりましたが、更なる成功に向けて、本日ご出席いただきました皆様方にご協力をお願い申し上げまして、改めてここに第82回全溶連大会東海の開催を宣言いたします。」と力強く挨拶の後、国歌斉唱と10名の物故者の方々に対しご冥福を祈る黙とうを捧げました。

次に本大会実行委員会石川会長より挨拶がありました。

「この名古屋の地で2009年に全国全溶連大会がございましたが16年ぶりの名古屋での開催となります。記念の第1回目はこの愛知県の犬山市でございました。そしてまた、今回の82回全溶連大会を含めましてこの愛知県の地で開催される大会はこれで9回目を数えます。

一昨年、九州の大会におきましては、SDGs宣言の発表がございました。只今のところは、各組合において、全組合員にこのSDGsが認識されますように行動を起こされていることじゃないかと思っております。

さて皆さん、ご案内の通り、最近では東京でアセチレンの大きな事故がございまして、多数の負傷者が出たということでございます。これにつきましては、被災された方には心からお見舞いを申し上げます。全溶連組合員としては、ガスの保安確保、そして地域社会への貢献、そしてこの業界の地位の向上、こういったものを、皆さんそれぞれ共通の認識をお持ちの、この全溶連



の会員皆さんがこの機会にいろいろな意見や議論をすることが本当に大切な時間じゃないかなと思っております。そんな思いから、大会の準備を進めてまいりましたが、昨今の世相の状況は、ご存じの通りまだまだ各地で紛争が長期化をしておりますし、日本におきましては、異常気象、温暖化など、そして経済状況を見ますと、やはり関税というものがやはり大きな不安材料としてのしかかってくるのではなかろうかと思っております。そんな中で、この大会、一堂に会して、懇親を深めていくことが本当に大事なことだなと思っておりますので、よろしく願いを申し上げます。

そしてまたこの後、記念講演では、異常気象温暖化についてのご講演を気象予報士の土井様をお願いをしておりますし、また、懇親会におきましては、それぞれ会員、賛助会員様のご協力によりまして、厳選したアトラクションを二つほど御用意しておりますのでぜひともお楽しみいただけましたらそして思い出として持って帰っていただけましたら幸いなことだと思います。簡単ではございますけれども、私の開会に際してのご挨拶とさせていただきます。」

続いて主催者であります深尾会長より挨拶されました。

「本日はご多忙の中、「第82回全溶連大会2025東海」にご臨席賜り、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様をはじめ、関係官庁、関係団体、業界関係者の皆様におかれましては、日頃より当連合会の活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますこと、改めて深く感謝申し上げます。また、全国各地よりご参加いただきました会員・賛助会員の皆様におかれましても、遠路はるばるご参集いただき、心より御礼申し上げます。

全溶連は、昭和7年（1932年）の創設以来、全国の都道府県を網羅する組織として発展を遂げ、今年で93年の歴史を刻むに至りました。高圧ガス溶材流通業界において唯一の全国組織として、業界の健全な発展と保安の確保に努めてまいりました。この間、経済産業省をはじめとする監督官庁、高圧ガス保安協会、日本産業・医療ガス協会、その他関係諸団体、そして賛助会員の皆様からの



ご指導・ご支援を賜りながら、会員各位のご協力のもと、今日の礎を築いてまいりましたことに、改めて深甚なる謝意を表する次第でございます。

さて、近年、我が国では地球温暖化の影響もあり、河川の氾濫、浸水、土砂災害など、かつてない規模の自然災害が頻発しております。こうした災害は、我々の業界にも大きな影響を及ぼしており、災害時における高圧ガスの安全確保と供給体制の維持は、喫緊の課題となっております。全溶連といたしましても、関係団体と連携し、災害対応マニュアルの整備や情報共有体制の強化など、実効性のある対策を講じてまいります。

また、消費先における高圧ガス事故の発生件数は依然として高水準で推移しており、その多くが誤操作や誤判断といったヒューマンエラーに起因しております。こうした事故を未然に防ぐためには、ガスの特性や機器の正しい使用方法の再確認を促すとともに、保安啓発活動の一層の強化が不可欠であります。加えて、放置容器の危険性にも十分な注意が必要であり、容器の早期回収・返却の徹底、高圧ガス保安契約の締結推進など、業界全体での取り組みが求められております。

さらに、鳥インフルエンザの発生時における炭酸ガスの安定供給体制の確保も、社会的責任の一環として継続的に取り組んでまいります。

全溶連では、これらの課題に対応すべく、保安文書類の改訂・拡充を進めるとともに、周知文書や啓発資料の配布を通じて、業界全体の保安意識の向上に努めております。高圧ガスの保安を通じて社会に貢献することこそ、我々の使命であり、存在意義であると確信しております。

また、前回大会より新たに掲げたSDGs活動につきましても、持続可能な社会の実現に向けた重要な取り組みとして、全会員が一丸となって推進しており、次世代に誇れる業界づくりを目指してまいります。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました東海高圧ガス溶材組合連合会 石川会長をはじめ、実行委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、ご来賓並びにご参加の皆様の今後ますますのご健勝とご発展を祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。」

次いで業界功労者及びキャンペーン達成組合の表彰式が行われました。

業界功労者表彰

(詳細はP12に掲載)

今回受賞された方は15名で、受賞者を代表しまして栗田 雅行氏(トーヨー南海株)が謝辞を述べました。

「本日、栄えある表彰を受けましたことに対し、心より感謝申し上げます。この度の表彰は、これまでご支援いただいた諸先輩方のお力添えによるものであり、深く感謝しています。

今後は、この感謝の念を胸に、自主保安と業界発展に尽力することをお誓い申し上げます。」



福祉共済制度ポイントゲットキャンペーンPart4感謝状授与

全溶連福祉共済制度加入推進の「ポイントゲットキャンペーンPart4」の結果、上位5組合に対し、表彰状と記念品が授与されました。

- 第1位 東海高圧ガス溶材組合連合会
- 第2位 大阪高圧ガス溶材協同組合
- 第3位 東京都高圧ガス溶材協同組合
- 第4位 (一社) 茨城県高圧ガス保安協会
- 第5位 (一社) 神奈川県高圧ガス流通保安協会

以上5組合のほかにも多数のチャレンジがなされましたが、今回は上記5組合が表彰となりました。ご協力誠にありがとうございました。



大会宣言文発表

東海高圧ガス溶材組合連合会の実行委員の方からお寄せいただきました大会宣言文の中から下記2点選ばれました。2年後の大会までの間の大会宣言分として使わせていただきます。

大会宣言文は東海高圧ガス溶材組合連合会青年部長 日東高圧株式会社 代表取締役社長 鈴木修平様より発表されました。

全溶連に関する宣言文 「信頼を重ね 未来へ繋ぐ 全溶連」

保安に関する宣言文 「自主保安 皆んなの力で 安全確保」

ご来賓の祝辞

経済産業省 中部近畿産業保安監督部 部長

正影 夏紀 様



経済産業省中部近畿産業保安監督部部長 正影様が、牟田高圧ガス保安室長の名代として出席いただき祝辞を代読されました。

全国高圧ガス溶材組合連合会総会の開催にあたり、一言お祝い申し上げます。貴連合会及び会員の皆様には、高圧ガス保安行政にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

昨年、能登半島地震に始まり、同じく能登地方や山形県など各地で発生した豪雨災害、九州地方を中心に記録的な大雨や猛烈な風を記録した台風第10号、年が明けてからは各地の山火事など、多くの自然災害が続く中、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げるとともに、経済産業省としても、地方自治体や、関係機関と連携し、引き続き事故・災害への事前の備えと、発災時の迅速な対応に努めてまいります。

そして、足下では、先月27日に東京都江戸川区において、建築工事現場の地中に埋まっていたアセチレンガス容器破損による漏えい・爆発及び火災事故が発生いたしました。

詳細は警察において捜査中ではありますが、地中に埋設された高圧ガス容器の破損に伴う爆発により、10名以上の方が負傷され、周囲の建物が破損したことは、社会に大きな衝撃を与えました。この事故を通じて、高圧ガスの危険性が広く認識されるとともに、高圧ガスに携わる我々、行政や、皆様、事業者の方々にとっては、その安全管

理の重要性が、改めて、心に刻まれる契機になったと思っております。

こうした中、貴連合会においては、これまでも、毎年10月に「高圧ガス容器全国一斉特別回収」として、関係団体との協力の下、放置容器、停滞容器の発生防止と保安の確保に取り組んでいるほか、消費者や販売店に向けて手引きを作成・配布するなど、高圧ガス容器の保安確保に大きく貢献されており、今後も、こうした活動を推進していくことは大変重要なことと期待しております。

経済産業省としても、今回の事故について重く受け止めており、(ここにいらっしゃる皆様はよくご存じのことではありますが、) 技術基準で求めるとおり「(高圧ガスの) 廃棄は容器とともに行わないこと」など、法令に基づき、適切に高圧ガス及びその容器の管理を行っていただくことが極めて重要であり、貴連合会の会員の事業者の皆様や、その取引先の皆様にも、是非よくよくご認識をいただくとともに、ご注意をいただきたいと思っております。また、国としても、引き続き、必要に応じて、適切な対応を進めてまいりたいと考えております。

さて、視点を社会全体に戻しますと、人口減少、化石燃料からの脱却に向けた新技術の開発など課題が山積しています。そうした中、昨年5月

には、2050年カーボンニュートラルの実現を見据え、水素等供給等促進法が成立いたしました。加えて、保安人材の不足や設備の高経年化といった課題に対してもAI等の新技術を活用する「スマート保安」の取組も進めています。高圧ガスは社会の様々な分野においてなくてはならない必要不可欠な存在であり、その重要性はいつの時代も変わることはありません。他方で、その特性から事故

愛知県 副知事 **江口 幸生** 様

本日ここに「第82回全溶連大会2025東海」が盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。また、全国大会を16年ぶりに愛知県で開催していただきましたことに、感謝申し上げますとともに、心から歓迎いたします。

また、先ほど長年にわたり、高圧ガスの保安に多大な功績をあげられ、表彰の栄誉に掲げられました皆様方に対し、深く敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。今後も、高圧ガスの業界の良き模範として、更なるご活躍をご期待申し上げます。

高圧ガスは、産業用の原料や燃料としての利用を含め、電子産業から鉄鋼などの基幹産業まで幅広い分野で社会の発展を支えています。また、家庭でも燃料として使用されるなど、私達の生活に欠かせないものとなっております。その一方で、取り扱いを誤りますと、大きな事故に繋がる危険性もあり、日頃からその安全対策が大変重要であります。地域連合会の皆様方におかれましては、92年以上にわたり、高圧ガスの販売から消費者までの流通過程での事故防止にご尽力いただい

名古屋市 消防局（消防正監）
予防部長 **丹羽 達夫** 様

本日ここに第82回全溶連大会2025東海が盛大に開催されましたことをお喜び申し上げますとともに、先ほど功労者表彰を受けられました皆様に対しまして、心よりお祝い申し上げます。また、16年ぶりの名古屋開催ということで、全国から本市にお越しいただきました皆様を歓迎いたします。

お集まりの皆様におかれましては、各地域にお

やリスクに直面する恐れがございます。こうした中、貴連合会におかれましては、日頃より、高圧ガスの保安確保に積極的に取り組んでこられましたことに、深く敬意を表したいと思います。

結びに、今後の貴連合会のより一層の御発展、会員の皆様の御健勝、そして御安全を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

ていることに深く敬意を表する次第であります。

本県といたしましては、住民の皆様が安全安心にお過ごしいただけますよう、今後も貴連合会の皆様方と緊密に連携をし、高圧ガスの保安行政を推進していく所存でございますので、皆様方におかれましても、引き続き法令遵守の徹底はもとより、自主保安活動を一層推進していただきますようお願い申し上げます。

さて、愛知名古屋では来月、アジア最大級で世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンをいたします。さらに、来年秋の愛知名古屋アジアパラ競技大会、2028年の技能五輪国際大会の開催など、国内外から多くの方が来県されるビッグプロジェクトが続いてまいります。本日もご参集の皆様方にも、これらの大会にぜひぜひ足を運んでいただきたいと思っております。最後になりますが、全国高圧ガス溶材組合連合会の皆様方、並びに本日もご出席の皆様方のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申し上げ、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



ける高圧ガスの保安確保の担い手として、平素より、高圧ガスに関する安全対策等の推進にご活躍いただいているところです。安全の礎は、皆様のたゆみないご尽力があってこそ築かれたものであり、皆様お1人お1人の力が高圧ガス安全の推進力であると考えております。

この場をお借りして深く感謝申し上げます。さて、先ほどからお話がありましたが、高圧ガスに



係る事故で、先月5月27日の東京都江戸川区の工事現場のアセチレン容器の爆破爆発火災が本当に印象に残っているところでございます。10名もの方が負傷される事故が発生したところでございます。このようなガスは、高圧ガスを取り扱うエンドユーザーの安全意識の欠如によるものかと思いますが、同様の事故を防止するためにも、高圧ガスを販売、取り扱いする際の予防啓発が何より重要であり、貴連合会のご活躍が期待されること

であります。

私ども行政機関も皆様との連携を深め、安全環境の整備により一層努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。結びといたしまして、全国高圧ガス溶材組合連合会のますますのご発展と、本日ご臨席の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

特別民間法人 高圧ガス保安協会
会長 近藤 賢二 様

本日は、第82回全溶連大会2025東海ということでこのように大規模に、そして活力を持って会合が開催されましたこと、心からお喜びを申し上げます。おめでとうございます。

私どもの協会と全溶連はいろんなことで協力しております。私どもの協会は実は創立60年でございます。改めてこの全溶連の93年というのを見ると、それだけ長きにわたって皆さんが社会に貢献してこられたことに対して、改めて皆さんに敬意を表し、感謝を申し上げる次第でございます。

先ほど来多くの方から先日のアセチレンガスの江戸川区での事故の件が述べられております。あのアセチレンガスの事故に際しましては、警察、消防、そして経済産業省高圧ガス保安室及び産業保安監督部と全面的に協力をいたしまして、原因分析を行っているところでございます。原因分析をした上で、今後はこういった事故の予防対策をさらにしなければならないということでいろいろ

とこれから知恵を出していかなければなりません。その際には貴連合会ともいろいろな情報交換、意見交換をして、予防対策を改めて講じていくことを考えているところでございます。このように、皆さんがいろいろな現場で積み上げていただいていることを基に、次のステップにさらに安全に活用していただけるような、そういう仕組みを作っていくようなことを私どもも協力してやっていきたいと改めてお願いをする次第でございます。



本日これだけの多くの方々名古屋にお集まりでございます。いつも皆さんのこの活力のある活動に心から感謝を改めて申し上げます。貴連合会のますますのご発展をお祈りするとともに、会員各社のご隆盛をお祈りいたします。特に本日ご列席の皆様のご健勝をさらにお祈りをいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。これからもよろしくお祈りいたします。ありがとうございました。

産報出版ホームページから飛び出したWEB版 **新媒**体

WELDING MATE

《ウエルディングメイト》

溶接界で75年以上続く新聞「溶接ニュース」から選りすぐり、
「技能者」「現場ルポ」「魅力的な製品」など、
溶接を「身近に感じる記事」を、興味のある方に無料開放!



こちらのQRコードからご覧いただけます↑



産報出版株式会社

●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840

第82回全溶連大会 2025 東海 業界功労者表彰

永年の功績が認められ
晴れの業界功労者表彰

第82回全溶連大会2025東海において、永年にわたり全溶連並びに単位組合において尽力いただいた功労者15名に深尾会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表してトーヨー南海株式会社 取締役副社長 栗田 雅行氏により謝辞が述べられ、満場拍手の中、表彰式が終了しました。

表彰状受賞者 (五十音順：敬称略)

荒川 元一 (宮城)
㈱荒川七衛商店 代表取締役社長

秋元 将志 (九州)
㈹アキモト酸素 専務取締役

大栄 勝 (九州)
鹿児島酸素㈱ 代表取締役

折茂 紀彦 (群馬)
協和商工㈱ 代表取締役社長

栗田 雅行 (大阪)
トーヨー南海㈱ 取締役副社長

坂口 秀通 (東海)
中部熔材㈱ 代表取締役社長

鈴木 哲弥 (東海)
三重酸素工業㈱ 代表取締役社長

外川 芳弘 (山梨)
山梨東海㈱ 常務取締役

東狐 光俊 (北陸)
昭和酸素㈱ 代表取締役社長

藤井 孝彦 (岡山)
藤井商事㈱ 取締役顧問

古川 良一 (東京)
三六商事㈱ 代表取締役社長

松尾 直光 (九州)
松尾産商㈱ 代表取締役

三島 正志 (神奈川)
㈱渡商会 上級理事

宮川 靖史 (大阪)
京立商事㈱ 代表取締役社長

輪島 茂光 (兵庫)
日東高圧化学工業㈱ 技術・保安統括部長



式典第二部

第82回全溶連大会2025東海の記念講演として、NHK気象予報士 土井 邦裕氏より「気象災害に備える近年の傾向と情報活用」との題目で講演をいただきました。



土井氏は、近年ますます深刻化する異常気象および地球温暖化の影響について、科学的なデータを基に解説されました。

- ・異常気象の現状：過去数十年間で観察された極端な天候や気温変動の例を紹介し、気候変動がどのように地球全体に影響を及ぼしているかを示されました。
- ・地球温暖化の影響：海面上昇や生物多様性の喪失を含む温暖化の影響が、さまざまな産業や自然環境に与える具体的な影響について説明しました。
- ・取り組みと未来への提言：現在国際的に行われている気候変動対策、特に再生可能エネルギー

ギーの利用促進や二酸化炭素排出量削減の必要性について強調され、参加者に温暖化対策への積極的な関与が求められることが話されました。

土井氏の講演は非常に示唆に富み、参加者に深い印象を与えるとともに、持続可能な未来へ向けた行動の重要性を再認識させる機会となりました。

プロフィール

愛知県豊田市出身。愛知大学経済学部卒業。大学在学中に気象予報士、防災士の資格を取得。現在はNHK名古屋放送局にて東海・北陸地方の天気予報や情報番組を担当し平日朝の「おはよう東海」や昼前の「ぐるっと！」に出演中



懇親会

懇親会の準備が整い、開場を待っていた参加者がそれぞれの場所に着席されいよいよ懇親会の幕開けとなりました。まず初めに、石川雅一東高連会長が開会の挨拶を行ったあと引き続き深尾定男全溶連会長が挨拶されました。その後、一般社団法人日本産業・医療ガス協会の澤木専務理事の乾杯挨拶で懇親会が始まりました。



最初のアトラクションとして登場したのは、名古屋を拠点に活躍するご当地アイドルグループ「dela」の皆さん。10名による華やかなステージパフォーマンスが始まると、キラのあるダンスと明るい歌声で一気に会場の雰囲気は最高潮に。さらに、メンバーが客席を回って参加者と写真撮影を行うなど、距離の近い交流に、会場中が笑顔に包まれました。

第82回 全溶連大会 2025東海



続いてのアトラクションは、現在多くのメディアで注目を集める若手No.1イリュージョニスト、「DAIKI」によるマジックショー。軽妙なトークを交えながら繰り広げられる不思議なイリュージョンに、会場からは驚きと歓声が上がりました。観客全員が参加できる仕掛けもあり、懇親会の一



体感がさらに高まりました。
こうして楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴もたけなわの中、鈴木哲弥東高連副会長による閉会のご挨拶で、にぎやかだった懇親会は盛況のうちに幕を閉じました。



オプションツアー(6月13日)

ゴルフコース

全洛連懇親コンペは4月に男子プロゴルフツアー開幕戦「東建ホームメイトカップ2025」を開催した東建多度カントリークラブ・名古屋にて行われ9組36名が参加し熱戦を展開しました。当日は梅雨晴れとなり、まさに最高のゴルフ日和でした。

優勝は大峰産業(株) (大阪市) の峰雅彦社長の頭上に輝き、産報出版社様より優勝トロフィーが贈呈されました。

結果 (競技方法: ダブルペリア)

- 優勝: 峰 雅彦氏 (大阪)
- 準優勝: 末吉隆宣氏 (九州)
- 3位: 境 順子氏 (大阪)
- ベスグロ: 富永尚一氏 (広島)



観光コース

当日は天候にも恵まれ、15名の参加者と共に「名城巡りと歴史探訪」をテーマに愛知県内の名所を訪れました。最初に訪れた国宝・犬山城では、天守閣から木曾川を望み、歴史の重みを実感。続いて名古屋城では、本丸御殿の豪華な造りを見学しました。昼食には名古屋名物「ひつまぶし」を堪能し、最後にトヨタ産業技術記念館を見学。自動車技術と日本のものづくりの歩みに触れ、学びと感動に満ちた一日となりました。



単位組合紹介

一般社団法人 神奈川県高圧ガス流通保安協会

所在地 〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町1-4-1 関内STビル11階
 TEL:045-212-2147 FAX:045-212-2148
 E-mail ryuhokyou@kne.biglobe.ne.jp
 ホームページ (HP) <https://ryuhokyo.com>

会 長 齋藤 正行
 設 立 昭和62年4月社団法人設立 (平成25年一般社団法人へ移行)
 沿 革 大正13年4月県内熔材商7名の親睦団体として誕生し、昭和62
 年法人化に至る。
 組 織 理事25名 (会長1名、副会長2名、専務理事1名、常務理事9名、
 理事12名)、監事3名
 会 員 数 正会員124 賛助会員9 (支 部) 横浜東 横浜西・三浦 川崎 湘南 県央
 (委員会) 企画 保安 容器対策 広報 財務管理



齋藤正行 会長

当協会は、大正13年に親睦団体として誕生後、今年で101年目になります。その後社団法人化を経て現在に至るまで、会員間の親睦を深めつつ各種事業を実施することで、当協会の目的である公共の安全の確保及び地域経済の発展に寄与してきました。

この間、協会を取り巻く環境は変わりました。一時200超だった会員数は事業の統廃合等により133になっています。今年4月にはコンビナート地域における高圧ガスの製造許可等の事務が横浜市、川崎市に移譲、県消防保安課の人員も縮小されました。また、当協会会員や顧客である高圧ガス消費事業者の事業に影響のある化学物質管理や熱中症対策といった新たな労働安全衛生規制も施行されました。

このような中で、5月16日に第13回通常総会を開催し、2期目となる齋藤会長のもと新任の理事6名、支部長4名、委員長1名、監事1名を加えた新たな体制を構築し、これまで培ってきた伝統と信頼を引継ぎ、更に新たな価値を創出すべく4つの協会事業を実施することとしました。

1. 保安事業

「高圧ガス消費事業者保安講習会」(神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市の後援)は、県下の6会場で毎年10月頃に実施します。

“行政からのお知らせ”(講師:行政職員)

“高圧ガスの安全な取扱い”(協会専任講師)の2講座に加え、その年に合った講座を設けています。昨年は講座“新たな化学物質管理規制”を設けました。他に神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練、高圧ガス消費事業所保安管理点検指導、高圧ガス販売事業者保安講習等を行います。

2. 容器適正管理事業

高圧ガス容器管理委員会の神奈川県支部として、放置容器等の回収処理等の対応を行っています。毎年100件を超える相談がありますが、昨年は77件に対応し、178本の容器を容器所有者へ返還又は廃棄処理を行いました。協会HPには放置容器を見つけた場合の措置を掲載し、放置容器を見つけた方が適切に相談、対応できるようにしています。

3. 広報事業

会員の協会活動への理解と関心を高め、積極的な参画を促すため協会報発行(年2回)、HPの開設・更新等を行います。

4. その他事業

毎年、第一種高圧ガス販売主任者資格試験を受験する方(会員に限定しない)の試験準備の支援を行うための講習会を開催します。また、昨年度は特別に化学物質管理者講習会(会員向け)を開催しました。

以上

賛助会員の広場

ハンドヘルドファイバーレーザー溶接機「MA1シリーズ」

KOIKE の高速・高品質ファイバーレーザー溶接機誕生！！

- 空冷式で軽量・コンパクト、多用途に使用できる優れた性能！
- 従来の溶接法に比べ操作も容易、省エネルギーで初心者でも簡単に溶接可能！
- 35/45/65 の 3 種類をラインアップし、最大板厚 6.5mm まで溶接可能！



ファイバーレーザー溶接用 自動遮光溶接面「100LW」

可視光線の**自動遮光機能**を備えた安心・安全の保護具！

- 顔全体を覆う構造で、誰でも安心してファイバーレーザー溶接を行えます！
- 溶接中ワークは眩しく光るので、100LW で遮光度の調節が行えます！
- 面体主要部分にジュラルミンを採用し、長く安全にご使用頂けます！



ワークやトーチを正確に視認できるので、より良い溶接の実現に寄与します。



KOIKE

〒130-0012 東京都墨田区太平 3-4-8 KOIKE Bid.7F
TEL:03-3624-3111 FAX:03-3624-3124
ホームページ: <https://www.koike-japan.com>



賛助会員の広場

炭酸ガス施用の決定版！



多点測定、多系統出力

最大4点のセンサ監視・4系統のCO₂出力を1台で制御が可能です。例えば4つのハウスそれぞれにセンサを置くことで、各ハウス個別に制御ができます。

4時間帯3段階濃度制御

4つの時間帯を設定し、それぞれの時間帯で温度や湿度、飽差に応じた3段階の濃度制御が可能です。例えば窓が開く温度を設定することで、窓が開いたときに施用濃度を変えることができます。

2種類のCO₂センサへ対応

高精度センサ及びリーズナブルなセンサの2種のCO₂センサへ対応することで、様々な計測ニーズにお応えすることができます。

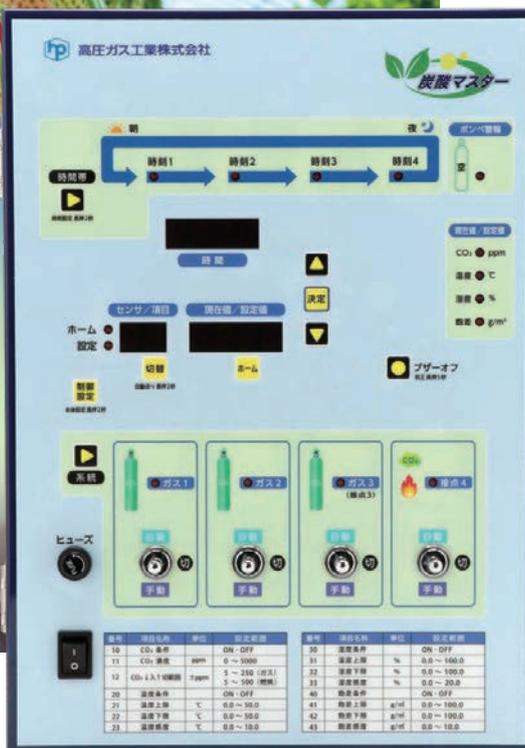
燃焼式ともつながる！ 将来的な液化炭酸ガスへの切り替えも！

燃焼式炭酸ガス施用機へ接点出力ができるため、化石燃料の新たな燃焼を伴わない液化炭酸ガス用への切り替えをよりスムーズに行なうことが可能です。

効果的な
炭酸ガス施用の
普及へ。



炭酸ガス施用システム
「炭酸マスター」



リーズナブルな導入費用で、光合成をしっかり促進



高圧ガス工業株式会社

本社 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
お問い合わせ先 〒530-8411 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
[大宮工場] Tel: 048-662-5575 E-mail: omiya@koatsugas.co.jp

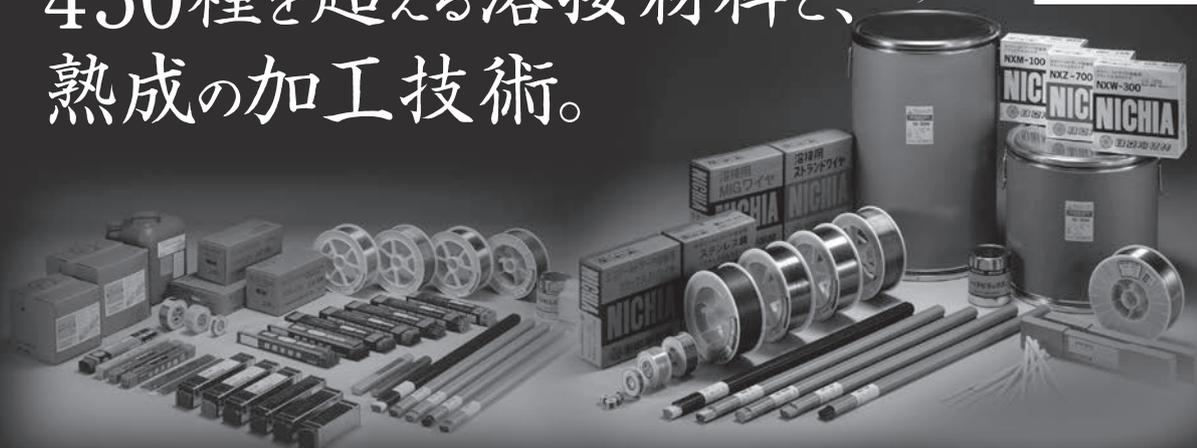
詳しい情報はWEBへ⇒



賛助会員の広場

マクロからミクロまで…

450種を超える溶接材料と、 熟成の加工技術。



 ニツコー熔材工業株式会社

本社 〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1番2号
TEL. (06) 6651-9024 (代) FAX. (06) 6651-9795
東京支店 広島営業所 名古屋営業所 交野工場 生駒工場

—— 日亞溶接棒 ——

www.nikko-yozai.co.jp/

製品加工・工事の動画やさまざまな技術をご紹介します。



一般社団法人
日本産業・医療ガス協会



2025年度 運営方針

1. 事故の無い安全な高圧ガスの世界の希求
2. 「もの申す団体」として発言力の強化
3. カーボンニュートラルな社会への挑戦

モノづくりを支え 命を守る、 インフラがある。

幅広いフィールドで活躍する産業・医療ガス。
JIMGAは、その発展をサポートしています。

産業・医療ガス事業者は、必要な所へ必要なだけガスを供給するのはもちろん、災害時にも人の命をつなぎ留める医療用酸素を供給し続けなければならない、非常に重要な使命を担っています。

全溶連からのお知らせ

全溶連の福祉共済制度のご案内

全溶連では4種類の福祉共済制度があります。
 毎年1月1日始期の定期更新及び
 新規加入の申し込みが10月からはじまります。
 (GLTDのみ始期は4月1日)

団体定期保険〈事業所加入型〉

加入しやすい掛け金で万一に備える保障

医療補償〈団体総合生活補償保険〉

病気やケガに備えた充実補償

傷害補償〈団体総合生活補償保険〉

経営者・従業員のみなさまの業務上のケガを補償
 業務中以外も補償する24時間タイプもあります。

長期収入サポート制度 (GLTD 制度)

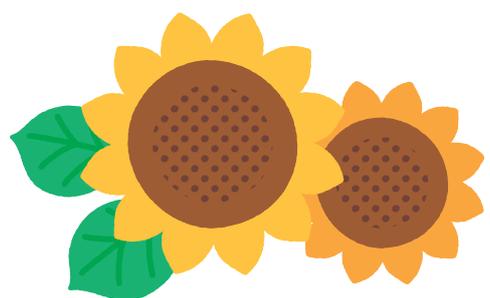
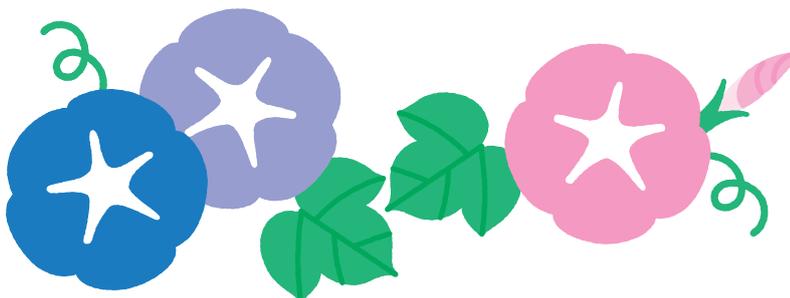
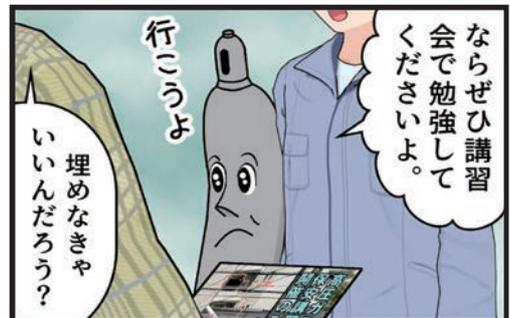
〈団体長期障害所得補償保険〉

病気やケガで働けなくなった場合に
 長期で収入を補償

ぼくはボン兵衛くん

作:ふうか.A

第四十九話 「埋めなきゃいいわけじゃない」の巻



長期収入サポート制度（全溶連GLTD制度）のご案内

— 団体長期障害所得補償保険 —



病気やケガで働けなくなった場合に長期で収入を補償する制度です。全溶連としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。御社の福利厚生拡大のため、制度導入をご検討ください。



医療保険には入っているけど...
治療が長引いて、なかなか復帰
できなかつたら、
蓄えている分だけで足りるかな？



そうね...長い間お給料も出ないし
住宅ローン
子どもの学費
生活費
も必要なのに、療養に専念できる
かしら？



本商品の詳細は、
二次元コードより
P.18をご確認ください！
全溶連福祉制度の
パンフレットが閲覧できます。



このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2024年●月承認) B24-00000

そんなときに!!! 全溶連 GLTD 制度

●全溶連制度での加入メリット!

保険料に団体割引を適用しているため、
割安な保険料でご加入いただけます!
ストレスチェックもサービスとして付帯しています!※

※西日本労働安全衛生法により、労働者数50人以上の事業場において、定時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の軽減を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することが労働者の義務となります。

●採用時の自社PRに!

リクルートやCSRの場面でも優良企業のイメージをアピールでき、優秀人材の確保・企業価値の向上につながります。
業務中・業務外、国内外を問わず、偶発な事故によるケガや病気等が原因で就業障害となった場合に補償します。

福利厚生のさらなる充実や、
自助努力への第一歩として、
ぜひ企業さまでの導入を
ご検討ください!

●働きやすい職場環境に!

福利厚生制度の充実により安心して働ける職場環境となることで、従業員のモチベーションが向上し、定着率UPにつながります。メンタル疾患による就業障害も最長2年間補償されます!

●訴訟リスク抑制に!

近年、労災をめぐる訴訟が増加しています。企業としての安全配慮義務が問われ、労災認定を受ける事例も多くなります。退職後の経済的補償により、訴訟リスクの抑制効果があります。



GLTDについてのお問合わせはこちらまで

取扱代理店 株式会社 星和ビジネスリンク
TEL 0120-288-270 (平日: 10時~16時) FAX: 03-5439-2380
引受保険会社 【幹 事】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課 TEL 050-3460-8162
【非幹事】 日本生命保険相互会社



まだ誰も知らない 安心を、ともに。

事故のあとの補償。損害保険はそれだけではいけない。

そう考えるあいおいニッセイ同和損保は、いち早くテレマティクス技術を活用し損害保険を「事故を起こさない保険」へと進化させました。

そして今、これまでの保険の枠を超えた新しい価値を提供するために、国内外のあらゆる事業を通じ、社会・地域課題の解決にチャレンジしていきます。

そのためのキーワードは、ともに。

お客さまとともに、そして地域・社会のみなさまとともに、
日常や事業にひそむ様々なリスクを削減し、
万が一の場合には、被害の軽減と早期回復を支援していきます。

そこに、国内外のパートナーと協業し、最先端のデジタル技術やビッグデータを掛け合わせれば、新しい社会を創り出すことができるはず。

それは、リスクに勝つことのない、安全・安心で快適な社会。

お客さまと地域と社会と私たちが思いをひとつにできれば、
夢なんかではない。私たちはそう信じています。

—CSV X DX—

そんな思いを、CSV X DXと名付けました。

あいおいニッセイ同和損保は、CSV X DXを通じて、
お客さま・地域・社会の未来を支えつづけます。

公式HPはこちら



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 東京都渋谷区恵比寿1丁目28-1
TEL 03-5410-1999
https://www.aioinissaydowa.co.jp/

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

— 発行所 —

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル)

Tel. 03-5296-0430 Fax. 03-5577-5062

http://www.zenyoren.com/ e-mail: honbu@zenyoren.com



この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。

全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会(E3PA)の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。



FSC
www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C176884